

○各医療機関の2025年に向けた対応方針

構想 区域	名称	1.今後の方針			2.具体的な計画										②具体的 な内容	③年次 スケジュール		
		①自施設の現状及び課題	②地域において今後 担うべき役割	③今後持つべき 病床機能	①4機能ごとの病床のあり方について													
					病床数(平成29年度病床機能報告)					2025年度								
					高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期			合計	介護 施設
伊賀	森川病院	<p>・高齢出産、合併症妊娠等、伊賀地域周産期医療における一次及び二次医療に対応すべく、常勤婦人科医を平成30年9月より1名増員し、毎日夜間を問わず、産婦人科医3名体制にてあたっています。</p> <p>・また、この地域で1カ所の特殊生殖医療(体外受精等)を行っております。卵管鏡下卵管形成術は、県内では三重大学病院と当院2カ所で行っておらず、特殊医療を地域の不妊患者様に受けていただくよう努力しております。</p> <p>・そして、婦人科手術においても、開腹手術、腹腔鏡下手術、腔式手術の3種類の手術を行っており、腔式手術は県内一の実績を収めています。</p> <p>・新生児小児医療においても、新生児未熟児専門医師にて診療を行っています。</p>	<p>・周産期患者の受入、特殊生殖医療、婦人科手術を地道に推進し、産婦人科医療も人口減少する中、高度先進医療を含め、クオリティの高い医療を地域女性に与え、尽くしていかなければならないと考えています。</p>		0	52	0	0	0	52	0	52	0	0	52	0		
伊賀	寺田病院	<p>・名張市及び周辺市町からの外来対応及び急性期入院対応を行っている。また、慢性期対応については、医療連携により周辺病院・診療所からの入院対応、当院在宅患者の療養入院の受け皿として、医療療養病床及び介護療養病床による入院・入所対応を行っている。</p> <p>・在宅医療については、在宅療養支援病院であり、訪問診療と併設の訪問看護ステーションとの連携により、在宅患者の療養及び終末期の患者のケアと看取りを行っている。今後、ますます増える在宅支援における地域のニーズに合った医療と介護サービスを提供できる体制をとっている。</p> <p>・課題としては、一部病棟の老朽化対策として、病棟の建替えを計画しており、2021年を目途に建替え予定。</p>	<p>・現状の外来機能と急性期入院機能、慢性期の療養病床機能を維持しつつ、名張市、伊賀市及び周辺町村の医療機関、福祉・介護事業所等からの受け皿としての役割は非常に重要であり、引き続きその機能を維持することが地域の保健・医療・介護・福祉ニーズに応え、その役割を果たすことができると考えている。</p>		0	55	0	80	0	135	0	55	0	40	95	40	<p>・療養病床80床のうち、介護療養病床40床を介護医療院(介護施設)に転換する。</p>	<p>・2023年までに介護療養病床を介護医療院へ転換する。</p>